

みずほCustomer Desk Report 2017/02/02 号(As of 2017/02/01)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	113.08 AUD/USD
TKY 9:00AM	112.80	1.0800	121.81	0.9893	1.2585	0.7577
SYD-NY High	113.95	1.0808	122.52	0.9955	1.2680	0.7597
SYD-NY Low	112.65	1.0730	121.75	0.9884	1.2545	0.7551
NY 5:00 PM	113.27	1.0769	121.89	0.9933	1.2656	0.7586
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	11.92/12.3		△25RR	0.623	Yen Call Over	
NY DOW	19,890.94	26.85	債券市場	日本2年債	-0.2150	▲2.1bp
NASDAQ	5,642.65	27.86		日本10年債	0.0980	1.1bp
S&P	2,279.55	0.68		米国2年債	1.2125	0.8bp
日経平均	19,148.08	106.74		米国5年債	1.9294	1.7bp
TOPIX	1,527.77	6.10		米国10年債	2.4699	1.7bp
シカゴ日経先物	19,195	175.00		独10年債	0.4680	3.2bp
ロンドンFT	7,107.65	8.50	為替市況	英10年債	1.4490	3.2bp
DAX	11,659.50	124.19		豪10年債	2.7370	2.4bp
ハンセン指数	23,318.39	▲42.39		USD/CNH	6.8310	0.0035
上海総合	-	-	商品市況	ドルインデックス	99.64	0.13
USDJPY 3M Vol	12.22	▲0.23%		CRB指数	194.335	2.30
USDJPY 6M Vol	12.20	▲0.04%		NY金	1,208.30	▲3.10
EURJPY 3M Vol	11.58	▲0.19%		WTI	53.88	1.07
EURJPY 6M Vol	12.66	▲0.01%		Dubai Spot	53.27	0.27

東京	東京時間のドル円は112.80レベルでオープン。前日海外時間に112円台前半での底堅さが確認されたことに加えて、仲値にかけては実需勢によるドル買い期待もありじり高推移となると、113円台前半まで上昇。その後は前日比ミックス圏で推移していた日経平均株価がプラス圏まで浮上したこと等からドル円は113円台前半での底堅い推移となった。前日にトランプ大統領が日本に対し円安誘導との批判をしたことについて安倍首相から「通貨安誘導との批判は当たらない」との発言があったが相場の反応は限定的となった。引けにかけては小幅に上昇し東京時間高値となる113.36を付けた後、113.35レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、113.35レベルでオープン。トランプ米大統領の日本批判を受けても、黒田日銀総裁が「強力な金融緩和を継続する姿勢に変化がない」ことを示すと、113.63まで上昇。しかし、上値追いは手控えられ結局オープンとほぼ同水準まで戻し、113.33レベルでNYに渡った。ボンドドルは1.2560レベルでオープン。英EU離脱について英下院で審議される中、ボンドが買い戻される展開。注目されたフォックス英国国際貿易相の議会発言では、EU離脱後の貿易協定について、EUが約40カ国と結んでいるFTAを活用する計画が示され、「既に各国はFTA活用を理解をしている」と発言。協定締結の実現味が意識され、ボンドドルは1.2653まで上昇した後、1.2624レベルでNYに渡った。ユーロドルは1.0781レベルでオープン。独1月製造業PMI改定値が56.4と2014年1月以来の高水準となったことや、ユーロ圏1月製造業PMI改定値が55.2と、約6年ぶりの水準まで上昇したことを受け、1.0803まで上昇し、1.0789レベルでNYに渡った。(ロンドン・ルヴリー 00531 444 179 山本)
ニューヨーク	NY時間のドル円は113.33レベルでオープン。朝方発表された米1月ADP雇用統計が予想を大きく上回ると、ドル円は113.70付近まで上昇。その後発表された米1月ISM製造業景況指数が予想を上回り、5ヶ月連続の上昇となったことから、ドル円は高値の113.95を付けた。しかし、114円台手前ではドル売り意欲も強く、その後はFOMC金融政策決定会合を控えたポジション調整の動きから113円台半ばでのレンジ推移。午後に行われたFOMC会合では、予想通り政策金利は据え置きとなり、声明文も前回12月会合の内容をほぼ踏襲したことから特段のサプライズはなかったが、イベント通過後のドル売りなどもあり113.20付近でのサポートを下げ112.84まで下落。新規材料に欠ける中、113円台前半まで反発し、113.27レベルでクロスした。なお、FOMC声明文では家計と企業のセクター改善を指摘するコメントが新たに追加されるなど、米国経済が堅調に推移しているとの認識があったが、3月会合での利上げに向けたシグナルは特段みられなかった。一方ユーロドルは1.0788レベルでNYオープン。朝方は堅調な米経済指標を受けてドル買いが強まり、1.0730まで下落。午後に行われたFOMC会合後はイベント通過からドル売りなどもあり、1.0789まで反発し、1.0769レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:西島・森谷

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
2月1日	10:00	中 製造業PMI/非製造業PMI	1月 51.3/54.6	51.2/-
	17:55	独 マークイット製造業PMI・確報値	1月 56.4	56.5
	18:00	欧 マークイット製造業PMI・確報値	1月 55.2	55.1
	18:30	英 マークイット製造業PMI	1月 55.9	55.9
	21:00	米 MBA住宅ローン申請指数	- -3.2%	-
	22:15	米 ADP雇用統計	1月 246K	168K
	23:45	米 マークイット製造業PMI	1月 55.0	55.1
	0:00	米 ISM製造業景況指数	1月 56.0	55.0
	0:00	米 建設支出(前月比)	12月 -0.2%	0.2%
	4:00	米 FOMC政策金利公表	- 0.50-0.75%	0.50-0.75%

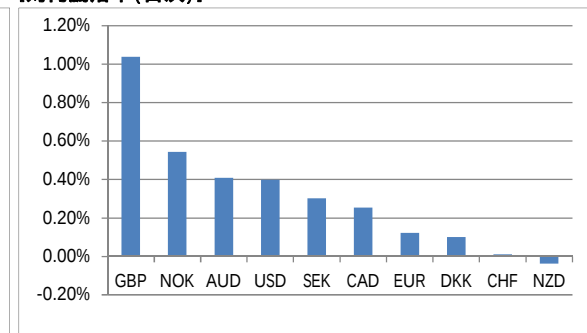
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
2月2日	8:50	日 対内・対外証券投資	-	-
	9:30	豪 貿易収支	12月 A\$2,000M	A\$1,243M
	19:00	欧 PPI(前月比/前年比)	12月 0.5%/1.2%	0.3%/0.1%
	21:00	英 BOE政策金利/資産購入目標	- 0.250%/1.435B	0.250%/1.435B
	21:30	英 カーニー-BOE総裁会見	-	-
	22:30	米 新規失業保険申請件数	- 250K	259K

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	112.80-113.80	1.0700-1.0850	121.00-122.50

【マーケットインプレッション】

昨日海外市場のドル円は上に行って来いの相場展開。前月比24.6万人増と市場予想を大きく上回る1月ADP雇用統計や、約2年ぶりの高水準となったISM製造業景況指数などの良好な米経済指標を受けて、ドル高の流れが広がる。ドル円は一時113.95まで上伸。その後、FOMCで政策が据え置かれ、声明文にも特段のサプライズは見られず、米金利の上昇幅縮小などを横目にややドル売りが強まり、ドル円は112.85まで下落。足許では113円台前半での推移となっている。本日のドル円は方向感を欠きながらの揉み合いに終始するとみられる。一連の良好な米指標はドル相場の下支え材料となるものの、トランプ政権による日本などを対象とする通貨安誘導批判や強い保護主義政策がドル円の重しとして押し掛かる構図から、上下ともに方向感を見出しにくい相場展開が続くそう。明日の米1月雇用統計を控え、活発さも期待しづらい113円台での揉み合いが基本線と考えられる。